

## 6. 西ノ川北広場

高槻市玉川 4 丁目にある、西ノ川北広場では、例年 3,000 本ほどのチューリップが植えられます。

## 7. 西面（さいめ）

江戸時代、西面村は、「玉川湖沼の面の西」として存在していた。玉川湖沼の水は、源の阿武山より流れこんでいた。

三箇牧村（さんがまきむら）は、かつて大阪府にあった村。

現在の高槻市唐崎・唐崎北・唐崎中・唐崎南・唐崎西・玉川・玉川新町・西面北・西面中・西面南・三箇牧・三島江・柱本・柱本新町・柱本南町にあたる。

明治時代初期の地図を見るとこの近くには大きな西面村があり、北に唐崎村、南に柱本村が点在していました。

西面村は、三島江から茨木への重要な道路で「茨木村道」と呼ばれていたようです。今は大阪府道 138 号三島江茨木線と言われ、三島江町の物流センターからの主要な道路です。

### 1) 中田屋治兵衛紀功碑

商人の中田屋治兵衛は、地元西面産の米を大阪堂島米穀取引所の標準米として明治 19 年から 20 余年間にわたって提供し続けました。

彼は、生産者としては儲からない標準米を確保するのに苦勞していた取引所に自ら申し出て標準米を出し続けました。

西面はもともと米どころではありましたが彼の統率により、この辺りは標準米の産地としての誇りを与えられました。当時の米相場に影の苦勞をされていたのが語られています。

この碑は堂島米穀取引所から贈られたもので彼の功績に感謝し、謝意が刻み込まれた紀功碑が今も西面の旧街道沿いの東仙寺の北側に建てられています。

